

福祉にいがた

Fukushi Niigata

CONTENTS

巻頭特集

災害福祉支援チームが始動 (2・3面)

- 県社協29年度主な事業・予算
- 表紙関連連載始まる。第1回は「新潟平野の龍蛇」
- 福祉職「研修受講管理システム」活用を！

4月号
2017
第776号



絵 高橋 郁丸「新潟平野の龍蛇（江戸時代）」(漫画家・新潟市中央区)

新潟県災害福祉 広域支援ネットワーク協議会

災害福祉支援チームが始動

新潟県内13福祉関係団体で構成する「新潟県災害福祉広域支援ネットワーク協議会」では、災害時に構成団体の福祉専門職などを避難所や福祉避難所などに派遣し、要配慮者に対する支援活動を行う「災害福祉支援チーム」を設置し活動を開始しました。

県内5地区に編成・設置 避難所での二次被害防

東日本大震災をはじめとする大災害では、避難所などでの体調悪化などによる災害関連死が大きな問題となりました。とりわけ、高

齢者や障害者などの災害時に配慮を要する方々に、それぞれに適した避難環境を提供し、避難生活に伴って生じる二次被害の発生を防

止することは、防災対策上極めて重要な課題となっております。

厚生労働省では、東日本大震災の教訓から、災害時要配慮者に対する支援に

は、広域的な福祉・介護分野の人材派遣のため

の体制づくりが不可欠として、都道府県にその

取り組みを促しています。本県では、新潟県社会福祉協

議会が事務局となって「新潟県災害福祉広域支援ネットワーク協議会」を設立し、構成団体の専門性を生かした支援体制の構築について検討を重ねてきました。このたび、福祉専門職67人による「災害福祉支援チーム」を県内5地区に編成・設置

する運びとなり、3月1日に新潟市で開催したチーム研修会を皮切りに活動を開始しました。

チームは、原則として、被災市町村からの支援要請を受けた県の要請に基づいて、被災地の避難所や福祉避難所などに派遣され、要配慮者に対する福祉的な支援活動を行います。

チームの体制や運用方法などについては、これからさらに検討していかねばなりません。チームの

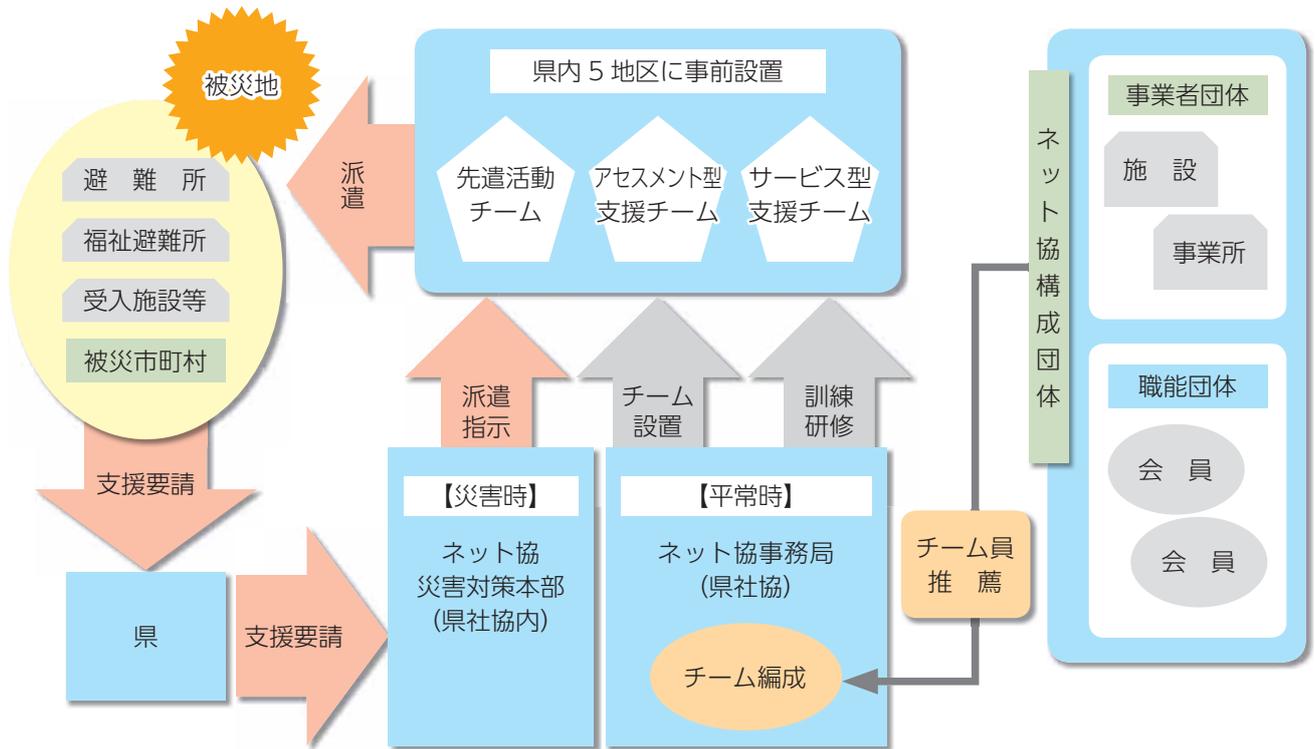
発足は、新潟県の災害対策にとって大きな一歩であり、今後さらに大きく育てていかなければなりません。

また、チームを有効なものとするためには、チームの支援活動を行政と福祉関係団体などが協働して行う災害対策のひとつとして明確に位置付け、関係者間

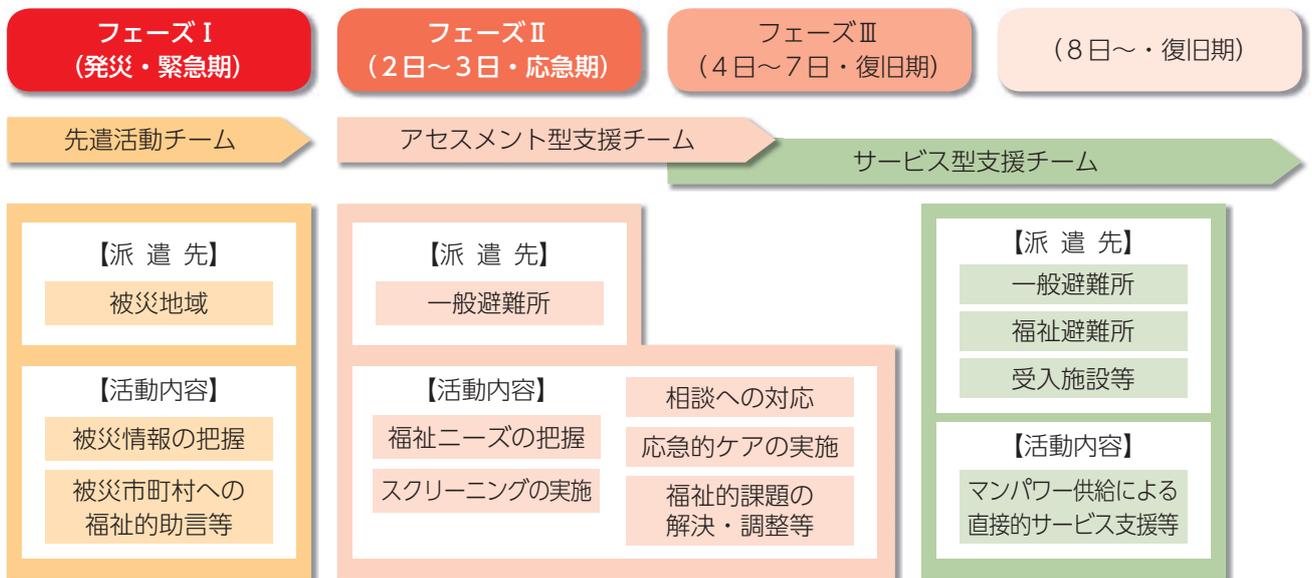
〈新潟県災害福祉広域支援ネットワーク協議会の構成団体〉

事業者団体	○県老人福祉施設協議会 ○県身体障害者福祉施設協議会 ○県精神障害者社会福祉施設協議会 ○県社会福祉法人経営者協議会 ○県知的障害者福祉協会 ○県救護施設協議会 ○県社会就労センター連絡協議会
職能団体	○県社会福祉士会 ○県介護福祉士会 ○県ホームヘルパー協議会 ○県介護支援専門員協会
その他の団体	○災害福祉広域支援ネットワーク・サンダーバード ○県社会福祉協議会（事務局）

派遣チーム概念図



災害時におけるチーム派遣支援のイメージ（県内発生災害を想定）



このため、協議会では、チーム派遣のルールとなる協定の締結やチーム活動の県地域防災計画への明記について、県との間で調整を進めています。

昨年4月に発生した熊本地震では、福祉避難所の開設が遅れるなど、過去の災害の貴重な教訓が生かされなかったと言われています。また、協議会の「災害福祉支援チーム」と目的を同じくする熊本県のチームも迅速な支援体制を組めなかったと聞いています。

大規模災害では、支援に当たるチーム員も被災者であるという現実があります。また、施設利用者や家族など守るべき存在がある中で、どのようにそれらを支え、乗り越え、期待に応えていくか。チームにとって大きな課題をしながらのスタートですが、今後とも皆さまの温かいご支援とご協力をお願いします。

平成29年度の主な事業計画

県社協の基本理念や基本方針実現のため策定した「活動指針」を推進します。

- ▷地域における権利擁護事業の推進
- ▷生活困窮者の自立支援と地域づくりの推進
- ▷災害福祉広域支援ネットワーク事業の推進
- ▷福祉職員研修受講支援事業の推進

1 新たなニーズに応える

- (1) 地域における権利擁護事業の推進
 - ▷日常生活自立支援を14社協（6社協増）に委託実施
 - ・新任専門員研修会《新規》
 - ▷成年後見制度普及促進
 - ・成年後見制度に関する実態把握調査《新規》
- (2) 総合事業など地域で支え合う仕組み構築
 - ▷新たな社会課題の抽出及び検討
 - ▷新たな社会課題に対応する共生の仕組みづくり構築
- (3) 福祉人材の確保等
 - ▷福祉人材センターと長岡支所の運営
 - ・上越市出張相談の実施《新規》
 - ▷離職介護福祉士等届出《新規》
 - ▷福祉職員研修受講支援
 - ▷介護福祉士等修学資金貸付
 - ・介護福祉士実務者研修受講資金貸付《新規》
 - ・離職した介護人材の再就職準備金貸付《新規》
- (4) 社会福祉協議会役員の視察研修
 - ▷市町村社会福祉協議会会長視察研修
- (5) 介護知識・技術の普及・促進
 - ▷認知症ケアステップアップセミナー開催
- (6) 避難者の生活再建への支援
 - ▷福島県避難者相談支援
- (7) 生活の安定への支援
 - ▷新潟県・新潟市ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付《新規》
 - ▷児童養護施設退所者等に対する自立支援資金貸付《新規》

2 社協活動啓発・広報活動の強化に向けた取組

- (1) 福祉に関する県民の理解や関心の向上
 - ▷県民福祉大会開催
 - ▷福祉・介護・健康フェアを新潟市と長岡市《新規》で開催
- (2) 情報発信・広報活動の充実
 - ▷福祉団体とマスコミとの懇談会開催
 - ▷市町村社協広報研修会開催

3 他団体との協力・連携促進

- (1) 福祉関係団体との連携・協働を基盤とした政策提言、予算要望活動の実施
- (2) 大規模災害に備えた福祉広域支援ネットワーク構築
 - ▷新潟県災害福祉広域支援ネットワーク協議会の運営と災害福祉支援チームの研修・訓練実施

4 県社協組織の総合力発揮に向けて

- ▷県社協職員研修の充実

5 自主財源の確保

- (1) 広く県民からの寄付を募るためのシステム運営
 - ▷寄付のマッチング事業「ファンドレイジング福祉にいがた」の運営
- (2) 地域福祉活動を応援する企業・団体等の拡大と自主財源の確保
 - ▷賛助会員の拡大
- (3) 広告収入の拡充
 - 福祉にいがたやホームページ、県社協封筒などに積極的に広告を掲載します。
- (4) 新潟ユニゾンプラザの管理運営
 - ▷貸貸収入増収に向けた取り組み
 - ▷自主事業の取り組み

平成29年度当初予算 資金収支予算内訳表 (単位：千円)

会計単位／事業区分／拠点区分 等	収支等区分	H29当初予算 (a)	H28当初予算 (b)	増 減 (c)
1 一般会計	総収入	1,745,596	1,690,926	54,670
	総支出	1,680,478	1,643,624	36,854
	当期末支払資金残高	65,118	47,302	17,816
(1) 社会福祉事業 合計	総収入	511,028	586,992	△75,964
	総支出	471,810	556,434	△84,624
	当期末支払資金残高	39,218	30,558	8,660
①法人運営事業 (理事会・評議員会など)	総収入	82,340	159,522	△77,182
	総支出	77,976	159,046	△81,070
	当期末支払資金残高	4,364	476	3,888
②連絡調整事業 (要望活動、福祉団体懇談会など)	総収入	7,251	7,532	△281
	総支出	7,251	7,532	△281
	当期末支払資金残高	0	0	0
③企画・広報事業 (福祉・介護・健康フェア、各種調査など)	総収入	11,252	9,311	1,941
	総支出	11,252	9,311	1,941
	当期末支払資金残高	0	0	0
④地域福祉活動推進事業 (成年後見促進・法人後見支援事業、市町村社協支援など)	総収入	55,159	56,241	△1,082
	総支出	55,159	56,241	△1,082
	当期末支払資金残高	0	0	0
⑤高齢者福祉活動推進事業 (明るい長寿社会づくり事業など)	総収入	92,201	97,494	△5,293
	総支出	92,201	97,494	△5,293
	当期末支払資金残高	0	0	0
⑥障害者福祉活動推進事業 (福祉の店パレット新潟店など)	総収入	12,095	12,448	△353
	総支出	12,095	12,448	△353
	当期末支払資金残高	0	0	0
⑦福祉サービス利用支援事業 (日常生活自立支援事業など)	総収入	76,125	75,432	693
	総支出	76,125	75,432	693
	当期末支払資金残高	0	0	0
⑧福祉従事者確保・就労促進事業 (福祉人材センター事業、福利厚生センター事業など)	総収入	68,407	66,446	1,961
	総支出	68,407	66,446	1,961
	当期末支払資金残高	0	0	0
⑨共同募金配分金事業 (福祉にいがた発行事業、県民福祉大会など)	総収入	13,539	13,325	214
	総支出	13,539	13,325	214
	当期末支払資金残高	0	0	0
⑩助成事業 (福祉施設への助成)	総収入	7,151	12,151	△5,000
	総支出	7,151	12,151	△5,000
	当期末支払資金残高	0	0	0
⑪基金管理運営事業 (県民たすけあい基金など)	総収入	85,508	77,090	8,418
	総支出	50,654	47,008	3,646
	当期末支払資金残高	34,854	30,082	4,772
(2) 公益事業 合計	総収入	1,097,395	892,912	204,483
	総支出	1,072,189	873,907	198,282
	当期末支払資金残高	25,206	19,005	6,201
①福祉従事者養成・資質向上事業 (社会福祉研修センター事業)	総収入	29,978	28,148	1,830
	総支出	27,393	28,148	△755
	当期末支払資金残高	2,585	0	2,585
②介護支援専門員養成・資質向上事業 (ケアマネ実務研修受講試験事業)	総収入	45,638	44,900	738
	総支出	23,017	25,895	△2,878
	当期末支払資金残高	22,621	19,005	3,616
③福祉従事者退職共済事業	総収入	826,909	802,536	24,373
	総支出	826,909	802,536	24,373
	当期末支払資金残高	0	0	0
④貸付事業 (介護福祉士等修学資金など)	総収入	194,870	17,328	177,542
	総支出	194,870	17,328	177,542
	当期末支払資金残高	0	0	0
(3) 収益事業 合計	総収入	137,173	211,022	△73,849
	総支出	136,479	213,283	△76,804
	当期末支払資金残高	694	△2,261	2,955
①新潟ユニゾンプラザ管理運営事業	総収入	137,173	211,022	△73,849
	総支出	136,479	213,283	△76,804
	当期末支払資金残高	694	△2,261	2,955

※総収入額に前期末支払資金残高を含めている。



めぐりめぐる

まだ残る肌寒さの中に、ほかに春の香りがします。「新年度」「新入学」「新生活」等々、何かと「新しい」この季節は、なんとなく期待に胸弾むような、それでいてなんとなくソワソワするような気持ちがないまぜになって、不思議な感覚になるのは私だけでしょうか。

時間の流れの中には変化がつきものですが、それを顕著に感じるのがこの時期。職場のメンバーが変わったり、担当業務が変わったり、あるいは自身の立場が変わったりと、自分が身を置く環境に変化が起きます。常にも増して、めまぐるしく過ぎ去っていく日々。置いていかれないように、目指すべきところへたどり着けるようにと、人そ

れぞれに抱く思いや感情が高まっていくタイミングでもあります。

最初は手探りだったものが、時間の経過とともに次第に自分のものになってくると、今度は良い意味でも悪い意味でも徐々に慣れていきます。良い方向に働けばそれに越したことはないのですが、日々の習慣の中で私達は、当初思い描いていた大切な「何か」を、ポツリポツリとどこかに置き忘れてしまいがちです。意識しようと思がけていたこと、これは頑張るぞと意気込んでいたもの、気がつけば「あれ？こんなはずじゃなかったのになあ」という現象は、恐らく誰もが経験することであり、私も例に漏れずその一人です。そうして光の速さで1年は過ぎ去り、いつしかまた、新しい春はやって来ます。

切れ目なく、途切れることなく巡り、移ろっていく時間―何を思いこの場所にいるのか、何をするためにここに居るのか、この先どうなりたいのか、どうやっていくのか：節目の折、そっと自分の心に問いかけてみませんか。

(実央)

平成29年度
社会福祉施設
総合損害補償

しせつの損害補償

インターネットで保険料試算できます

ふくしの保険

検索

老人福祉施設、障害者支援施設、児童福祉施設の

事故・紛争円満解決のために!

◆加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

プラン1 施設業務の補償 (賠償責任保険、動産総合保険)

1 基本補償(賠償・見舞)

▶保険金額		基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
賠償事故	対人賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
	対物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
	うち現金補償限度額(期間中)	20万円	20万円
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
お見舞い等	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
	事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円
	被害者対応費用(1名につき)	死亡10万円 後遺障害0.3-10万円 入院時3万円 通院時1万円 (1事故で10万円限度)	死亡10万円 後遺障害0.3-10万円 入院時3万円 通院時1万円 (1事故で10万円限度)
	傷害見舞費用	死亡時100万円 入院時1.5~7万円 通院時1~3.5万円	

保険期間1年

▶年額保険料(掛金)		
	定員	基本補償(A型)
補基本(A型)	1~50名	35,000~61,460円
	51~100名	68,270~97,000円
	以降1名~10名増ごと	1,500円
付見舞費用(B型)	基本補償(A型) 保険料	【見舞費用加算】 定員1名あたり 入所:1,300円 通所:1,390円



スケールメリットを活かした
充実した補償と
割安な保険料
です。

プラン2 施設利用者の補償

プラン3 施設職員の補償

プラン4 社会福祉法人役員等の補償

◆29年度新設 看護師の賠償責任補償(プラン1-①オプション2)

●この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約(「賠償責任保険」「普通傷害保険」「労働災害総合保険」「約定履行費用保険」「動産総合保険」)です。

●このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問い合わせは下記までお願いします。

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課 保険会社〉
TEL: 03(3349)5137
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763

(SJK16-16919 2017.2.3作成)

平成29年度共同募金広域助成事業（30年度事業）募集のお知らせ

1. 事業名	県広域福祉団体助成
対象事業	県域を単位とする民間の福祉団体が実施する社会福祉事業等
助成基準	事業費の80%を上限
2. 事業名	社会福祉施設整備助成
対象事業	高齢者・障がい者・児童などを支援する法定施設で、施設利用者の処遇向上のための備品・車両の整備、施設の増改築や改修など
助成基準	事業費の75%（200万円）を上限。多額の繰越金を有する団体は対象外
3. 事業名	地域活動支援センター等支援助成
対象事業	地域活動支援センター等が実施する研修・交流会の開催、建物の修繕、作業用備品の購入、自主製品の材料購入、送迎用車両の購入など
助成基準	原則として事業費の90%を上限。多額の繰越金を有する団体は対象外
4. 事業名	ボランティア団体等活動支援助成
対象事業	ボランティア団体やNPO法人が事業拡大等をする場合に必要経費
助成基準	原則として事業費の80%（30万円）を上限
5. 事業名	地域活動支援助成
対象事業	社会福祉法人、NPO法人、自治会等の地域団体、社会福祉活動を行う非営利団体・グループが公的助成の対象とならない「生活支援事業」「交流支援事業」「移動支援事業」を実施するために必要な経費
助成基準	原則として事業費の90%（事業内容に応じ100万円から10万円）を上限

平成29年度共同募金広域助成事業（30年度事業）を募集します。
概要は次表のとおりです。要項・申請書は、当会のホームページからダウンロードしてください。提出締め切りは5月22日（月）。消印有効。

また、市町村共同募金委

員会でも公募事業を実施していますので、詳しくは各地域の共同募金委員会にご確認ください。
問い合わせ先
TEL 025528115532
ホームページ
<http://www.h7.dion.ne.jp/~ni-kyobo>

NHK歳末たすけあい募金助成決定交付式

3月13日に第66回NHK歳末たすけあい募金の助成決定交付式が行われました。交付式ではNHK新潟放送局の鈴木仁局長が「長く続いているNHK歳末はひとり一人の善意でなりたっており、支援の必要な方々へ使われている。今回の助成も有意義に活用していただきたい」と挨拶しました。

今年度は7,473,356円の募金が集まり14施設・団体へ助成が決定し、小田敏三



会長から目録を贈呈しました。

施設・団体を代表して特定非営利活動法人青りんごの会中村督理事長が「助成いただいた車両を作業所の利用者の足として活用できることに感謝いたします」とお礼の言葉を述べました。

「平成28年新潟県糸魚川市における大規模火災義援金」受付期間延長

糸魚川市大規模火災義援金の受付期間が6月30日まで延長になりました。ご協力お願いします。

「平成28年熊本地震義援金」受付期間延長

熊本地震の義援金受付期間が平成30年3月31日まで延長になりました。ご協力お願いします。



福祉職員

「研修受講履歴管理システム」積極活用を！

新潟県社会福祉協議会社会福祉研修センターでは、現在、各研修会の申し込みをホームページ（研修受講システム）から受け付けています。各法人・事業所ごとに発行している専用のID・パスワードを使ってロ

グインし、申し込み手続きを進めていきますが、本システムにはその他にも便利な機能があります。積極的に活用ください。

① 受講履歴管理システム

本センターが実施する研

修を受講するごとに、その実績が「履歴」として職員ごとに自動的に表示されるシステムです。他団

体主催の研修に参加した実績も入力することができ、職員の研修受講状況の把握や、キャリアパスの形成に係る指導・助言などの一助として役立ちます。

この履歴は、新潟県社会福祉協議会ホームページ



ジの「研修センター」コンテンツ枠内にある「職員情報編集・受講履歴管理」から一覧で職員ごとに確認ができるほか、個人ID・パスワードを使ってログインをし、職員自身が閲覧することもできます。

② 職員別「おすすめ研修」機能

本システムに登録のある職員一人ひとりに対し、福祉経験年数や職種などに基づいておすすめ研修を提案します。表示画面イメージ参照。また、当センターが実施する研修だけではな

く、社会福祉従事者を対象としたその他団体表Ⅱが実施する研修についても同様におすすめの研修を確認することができます。新潟県社会福祉協議会ホームページの「研修センター」コンテンツ枠内にある「職員別おすすめ研修」をクリックし、システムにログインの上ご覧ください。

福祉・介護サービスに携わる人材を確保し、質の高い福祉サービスの提供を実施するには、職員の人材育成と資質向上が重要になります。職員自らがキャリアアップの道筋（キャリアパ

ス）を描き、それぞれの段階に応じて求められる能力を習得するための一助としてください。

研修提案7団体

- ・新潟県社会福祉協議会社会福祉研修センター
- ・新潟県社会福祉士会
- ・新潟県介護福祉士会
- ・新潟県介護支援専門員協会
- ・新潟県ホームヘルパー協議会
- ・新潟県老人福祉施設協議会
- ・新潟県保育連盟

新潟県社会福祉協議会 人事異動

(4月1日付)

総務管理課

嘱託 小松 喜孝(新採用)

企画広報課

課長 横堀 直樹(福祉人材課 課長)

課長代理 目崎 幹生(企画広報課 主査)
～昇任

主任 田中 鈴香(地域福祉課 主任)

地域福祉課

主任 寺口 祐司(企画広報課 主任)

嘱託 今野 佳織(新採用)

生活支援課

主査 竹ノ内悦子(福祉人材課 主任)
～昇任

嘱託 猿子 武志(新採用)

嘱託 池田 洋一(総務管理課 嘱託)

嘱託 稲田 美紀(新採用)

福祉人材課

課長 新保由己子(福祉人材課 課長代理)
～昇任

嘱託 石川 基世(新採用)

◆退職 (3月31日付)

渡邊 豊(企画広報課長)

山口 千秋(生活支援課嘱託)

福祉の店 味わい散歩

工房とんとん(すずカフェable)

社会福祉法人 桐鈴会

(南魚沼市浦佐5143-1)

◇10時～16時

◇日・月・祝日休み

◇TEL 025(780)4150



八色の森公園を見ながらパンとランチ

ドアを開けると、外はカリッと、中はもちもちのバケットや塩味が程よく利いた塩パン、バターを使ったふわふわ食感の食パンなど人気のパンが迎えます。毎日6、7人の利用者が藻塩や沖縄産の砂糖、国産小麦粉、そして地元産コシヒカリを



使って作る体に優しい米粉パン。菓子パン・惣菜パンを中心に、桜あんパンなど季節限定品も含めると毎日焼くパンの種類は25種ほどになります。焼きたてパンは右手のカフェで食べることもでき、目の前に八色の森公園が広がる

ロケーションはコーヒータイトムに最適。キッズコーナーもあり、小さな子どもと一緒にランチを楽しむことができます。

きます。

出汁からきちんと取った無添加の手作りランチは、和食メニュー中心の日替わりの「すずカフェランチ」(800円)をはじめ、2種のおにぎりが楽しめる「とんとんランチ」(500円)などが用意されています。土曜日限定の「サービスパンランチ」(500円)は、3種類のパンとスープを選べるお得なセットです。パスタ類もボリュームたっぷり。厨房と接客を3人ほどの利用者が職員とともに担当しています。自慢の食パンを活用したかりんとうやラスク、米粉サブレも好評で、今後は菓子類にも力を入れていきたいと話しています。

福祉NEWS

2017年2月11日～2017年3月10日

■被災3県ボランティア「阪神」下回る152万人

東日本大震災の発生から昨年12月までの約5年10カ月に岩手、宮城、福島の被災3県で活動した災害ボランティアは、延べ152万人だったことが16日、3県の社会福祉協議会への聴き取りで分かった。単純比較はできないが、約5年3カ月で217万人と推計される阪神大震災を下回る水準。沿岸部を中心に交通アクセスに難のある地域が多いのが影響したとみられる。

■県民の満足度低下 県16年度意識調査

新潟県は2016年度の「県民意識調査」の結果をまとめた。暮らしやすさに関する県民の満足度では、安全・安

心な生活や情報通信環境の整備など11項目のうち6項目で「満足」「ほぼ満足」の回答が減った。一方、10項目で「不満」「やや不満」が増えるなど、県政への満足度が低下している現状が浮き彫りになった。

■特養1割「職員足りず空き」 介護人材不足深刻

特別養護老人ホーム(特養)で職員不足など体制の不十分さを理由にベッドに空きがある施設が1割以上あった。厚生労働省が委託した調査でわかったもので、介護現場の人材不足が改めて浮き彫りになった。委託調査は平成28年11月から12月にかけて約10年以内の1151施設を対象に実施。550施設(47.8%)から有効回答を得た。調査結果によると、13.5%

の施設が「職員不足」や「医療的ケアに対応できない」を理由に空きベッドがあると答えた。厚労省の調べでは、2013年秋時点の特養の待機者は全国で約52万人いた。

■本県に居住継続8割超 福島からの自主避難世帯

東日本大震災に伴う東京電力福島第1原発事故で福島県から本県に自主避難し、3月末で住宅の無償提供が終了する457世帯(1月末現在)のうち、84.9%(383世帯)が本県での避難継続を考えていることが8日、県の意向調査で分かった。原発事故から間もなく6年となるが、自主避難者の多くが、今なお帰還をためらっている実態が明らかになった。

“こんにちは”民生委員・児童委員です ～民生委員制度創設100周年を迎えて～



Vol.4 村上市岩船小学校との連携

地域と協力、児童見守り声掛け

1 児童との関わり

村上市第三地区の児童委員と主任児童委員9人全員は、「元気わくわくサポート」という名称で岩船小学校と連携して活動しています。この取り組みは、平成27年度よりスタートし、今年度で3年目となります。

活動は、各自都合のつく時間に学校を訪問し、学年



「放課後子ども教室（学習支援）」

や授業内容を問わず児童の様子を見て、次のようなサポートをしています。

(1)健康状態などを観察し、具合の悪そうな児童に声をかけ、担任の先生との連携をとる

(2)学習用具の準備状況や無気力になっている児童への励ましの声かけ

(3)授業中の立ち歩きや教室外に無断で出るなどする児童へ注意（昨年度ほとんどいなくなりました）

(4)体育館での授業や活動へのサポート（着替えなど）
(5)校外での活動や避難訓練などの付き添いや安全への見守り

2 公民館活動への協力

毎月1、2回程実施される「放課後子ども教室」の活動を支援・協力しています。子ども教室は小学1年生から3年生までの希望者が対象です。現在は35人が



「放課後子ども教室（読み聞かせ）」

在籍し、放課後の1時間（15時～16時）、小学校内の空き教室1室を利用して開設されています。

30分間は全員で宿題を行い、その後は各月の計画に従い、主任児童委員が中心となって、子ども茶会をはじめ、折り紙や紙芝居、読み聞かせ、郷土カルタ、植物の話、軽スポーツ、クリスマス飾り作り、作って遊ぼう正月遊びなどを楽しんでいます。

3 地域活動の見守り

地域の大人や若者、子ども同士の活動に対し、PT

Aや青少年健全育成会などとともに見守り活動を行っています。

地域で開催される大祭や七夕、左義長、町内子供会お楽しみ会、地域での下校後の遊び、登下校時のながらパトロールなどを実施しています。

4 学校の諸行事に参加

入学式や卒業式、運動会、展覧会、児童会まつり、六年生を送る会など、地域の方と共に参加しています。

5 今後の課題

小学校区内でのいろいろな活動に関わることで、児童委員の活動への理解も深まりました。今後も地域の皆さんと協力し参加の仕方なども工夫していきたいと思っています。学校との連携という点で、更によい活動の仕方を考えていかなければならないと思います。

村上市第三地区

民生委員児童委員協議会

（岩船地区）

新潟の妖怪

新潟の妖怪にまつわる絵を描くにあたり、最初に何を描こうかと考えたときに「龍しかない」と思いました。というのも、

新潟の文化を考える教科書として私が愛読している本、「北越奇談」の巻頭が『龍蛇の奇』なのです。この「北越奇談」は橘崑崙が文化9（1812）年に出版し

雲が水を巻き上げ…これが「巻水」。奇談というと、荒唐無稽の話と思いますが、崑崙は徹底的に取材をし、これはと思うと現地に走ります。日時を書き残すところも「作り話ではない」という気持ちのあらわれと思います。

「龍蛇の奇」には他に登蛇、似類、河伯、うわばみ、龍種石、龍力があります。登蛇は年を経た蛇が天に昇って龍になると。似類はその途中の蛇と思われる物体が空を飛んでいて大騒ぎになったことが

新潟平野の龍蛇 多くの大蛇・龍神伝説残る

た本で、新潟県内の不思議な話が書かれています。龍蛇の奇は、崑崙が信濃川河口を舟で渡っているときに日本海から龍

のような物体が中に潜む黒雲がやってきて、絶体絶命…という体験談から始まります。寛政5（1793）年10月20日のことであったと記されています。

また、井土巻から2匹の龍が現れ、1匹は三条、1匹は加茂へ去り、龍が通り過ぎたところは大被害。これが「鬮龍」。

新潟から曳舟で福島潟へ向かうときに、

記されています。

新潟平野を蛇行する川は、まさに蛇。伝説を調べていると、大蛇や龍神の話をたくさん聞くことができます。いつかこの龍蛇の地図を越後佐渡全県版で作ってみたいのです。

文・絵 高橋 郁丸

（新潟県民俗学会理事・

新潟妖怪研究所長）



新潟ユニゾンプラザ 情報

◆主な貸室の紹介 【特別会議室】



スクール形式では最大 60 席までのご利用が可能です。
また、口の字形式など目的に合わせたレイアウトで、各種セミナーや面接・筆記試験会場、社内外の会議など幅広くご利用いただけます。
【定員】 60 人 【広さ】 186㎡ カーペット敷

貸ホール・貸会議室は新潟ユニゾンプラザへ

多目的ホール・会議室・研修室など用途や規模にあわせてご利用いただけます。

無料の専用駐車場（220 台）を完備しております。

◆貸室の利用申込方法

ユニゾンプラザホームページよりお申し込みください。貸室の予約状況も公開しています。

URL：<http://www.unisonplaza.jp/>

【中研修室】



【定員】 80 名
【広さ】 236㎡
会議・セミナー・教室など幅広い用途にお使いいただけます。
跳ね上げ式テーブルにより、配置換えの移動も容易にできます。

福祉の現場

岩名 浩伸さん

(新発田市社会福祉協議会地域福祉課主事)

No.19



日常生活自立支援事業の担当になって8年。専門員として、認知症の高齢者や知的あるいは精神的障がいのある人たちが、地域で安心して暮らせるようにサポートしています。

「人生の先輩たちです。いろいろな人生があり、それをひもとくことから支援を考えています。年を重ねた方々の人生観は発見や驚きがあり勉強になります」

やりがいを感じるとともに、対象となる人や関係機関、支援者とのコミュニケーションに大きな労力が必要だと感じます。金銭の管理なども任せられるだけに、意思の疎通を図ることがより大切。その際は「その人の価値観を否定しない」ことを基本としています。金銭の使い方も教科書通りでなくても良いのではないかと考えます。「ただ駄目、ではなく、その人の生き

その人らしい幸せを尊重して支援

る楽しみを尊重し、その人らしい幸せを感じられるようお手伝いをしたい」と強調します。

日常生活自立支援事業は自分ひとりで判断することに不安を感じる方と契約を結び①福祉サービス利用援助②日常的な金銭管理サービス③書類等預かりサービスを提供するものです。社協の3人の専門員で新発田市をはじめとする近隣8市町村の70件(人)を精力的に担当してきました。今月からは2つの市社協が専門員を置き事業を始めるため、6市町村に活動エリアが縮小しますが、熱い思いは変わりません。

大学卒業とともに新発田市社協に。26歳でした。学生時代、社会福祉士資格取得に向けた2週間の実習で社協の仕事に魅了されました。「出会える人の幅広さと自分で事業を創ってける自由さ」があると云います。その「楽しさ」を原動力に日々の業務に当たっています。

家に帰れば元氣あふれる2児の父。趣味の車は、かつてのスポーツタイプからファミリータイプに自粛中とのこと。

福祉の店パレット

特定非営利活動法人 大杉の里
ワークセンターおおすぎのさと
(就労移行、就労継続B型)
(上越市浦川原区虫川818番地)

【施設紹介】

菓子製造、紙製品・廃油石鹸製造、農業、受託作業(清掃、小型機器解体)など様々な作業を行ないながら、自分らしく・暮らしていくをモットーに、お休みにはサッカー観戦、温泉などへ行った



り、作った製品を販売しています。

現在、農業と福祉の連携を模索しながら、天水田でコシヒカリを育てています。

【商品説明】

- ☆お米 450g 432円(税込み)
- ☆ボン菓子 100g 311円(税込み)
- ☆ボン菓子 50g 210円(税込み)

お米は天水田で育てたコシヒカリです。上越浦川原区と吉川区の境になる山間地(小麦平)で育てました。風通しがよく、沢の水を引き減農薬で育てました。小粒ですがとてもおいしいので是非ともお試しください。



問い合わせ

福祉の店パレット新潟店
県社協 地域福祉課

☎025-281-5513
☎025-281-5521

「ご意見で感想お寄せください」
「福祉にいがた」について、ご意見、ご感想、
知りたいテーマなどございましたら左記までお寄せください。
◆TEL 0950-85575 新潟市中央区上所2-1-212
◆新潟ユニゾンプラザ3階 新潟県社会福祉協議会企画広報課
◆ファクス 025-281-5528
◆Eメール oasis@fukushininigata.or.jp

この機関誌は、
赤い羽根共同募金の
助成を受け発行しています。



発行所/社会福祉法人 新潟県社会福祉協議会
新潟市中央区上所2-2-2ユニゾンプラザ
☎ 025-281-5520
発行人/関谷 政友
定 価/5円(会員の購読料は会費に含む)

福祉にいがた
平成29年4月1日発行(毎月1日発行)
昭和27年9月16日 第三種郵便物認可
印刷/島津印刷㈱